事例No.	1392
公表年度	R3
団体の属性	町村
団体名	福井県高浜町

事例区分	一般行政

タグ	・新たな政策手法の確立・活用 ・ICT ・（行政改革）業務の効率化

事例種類	森林整備

事例内容・タイトル

青の松原健全化計画

出典

森林環境譲与税の令和２年度取組事例集（令和３年１２月）

福井県　高浜町（青の松原健全化計画）

- 「青の松原」は、高浜町において人口が集中する和田地区の市街地を海風から守る防潮林として機能するだけでなく、国際環境認証も得ている若狭和田海岸の美しい海岸を彩るマツ林として景観上重要な役割を持ち、生活環境の維持と観光資源の双方から重要なマツ林である。
- 高木化したクロマツは、近年頻繁に発生する強風等により近接する住宅地に倒れたり枝が落下するなど危険な側面もある。
- このため高浜町では、森林環境譲与税を活用し、青の松原の健全化を図る計画を立案し、松原の将来的な維持と近隣住宅地への危険回避の両立を目指す。

□ 事業内容

青の松原の健全化計画

〇令和元年度に実施した各種調査から問題点を明確化
〇危険と判定された樹木を伐採
〇検討協議会を開催して地元と連携強化

【事　業　費】4,345千円（全額譲与税）
【事業内容】クロマツ個体調査/GISデータ補遺
危険木の伐採/青の松原の健全化計画検討協議会の開催
【実　　績】個体調査734本/GISデータアップデート
危険木伐採15本/検討協議会1回開催



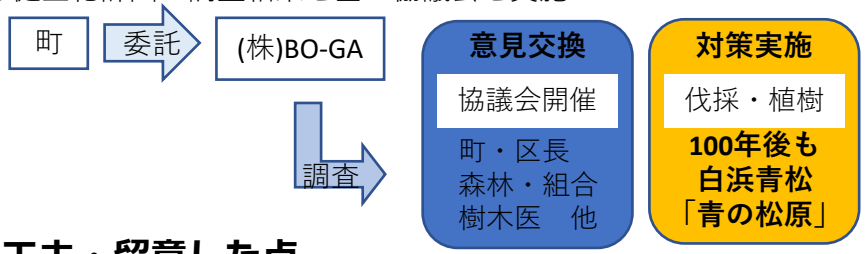
（個体調査）



（間伐の状況）

□ 事業スキーム

〇健全化計画の調査結果を基に協議会を実施



□ 工夫・留意した点

- クロマツの健全性・危険度・位置関係等を多角的に踏まえ、優先度の高いクロマツを選定した上で、伐採した。また、伐採だけではなく、植樹や地域理解を深めることで木材としての活用の道も検討する。
- 調査対象のエリアには、町有地の他に区有地・個人の土地等が含まれており、対策の全てを行政が実施するのではなく、地域団体や次世代を担っていく子ども達と植樹などを通じて青の松原の将来的な維持を実施していく。

◇ 基礎データ

①令和２年度譲与額	6,296千円
②私有林人工林面積（※１）	1,953ha
③林野率（※２）	74%
④人口（※３）	10,596人
⑤林業就業者数（※３）	7人

※１：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、
※２：「2015農林業センサス」より、※３：「H27年国勢調査」より